

光のファンタジー 白岩城址燈火祭

白岩城址や前郷通り、本町通りに1,000個以上のかがり火を灯し、幻想的な光の世界を演出する「白岩城址燈火祭」(主催:白岩村おこしプロジェクトS・代表 下田三千雄)が2月14日、角館町白岩平城を主会場に開催されました。

白岩城址にかがり火が灯される中、主会場では元気白岩ひでこ節大会や綱引き大会、火振りかまくら、花火打ち上げなどが行われ、集まった子どもから大人までみんなが盛り上がり白岩の冬のイベントを楽しんでいました。



文化財を火災から守る

毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、この日を中心に全国各地で文化財防火運動が実施されています。

仙北市では、24日に、角館伝統的建造物群保存地区で、文化財防災施設点検を実施し、25日は、国指定文化財の草薨家(田沢湖生保内)と、県指定文化財の大国主神社(西木町西明寺)で、防災訓練を実施しました。

草薨家では、消防署員や地域の消防団員、市関係者などが参加し、119番通報や、放水銃による放水が行われたほか、消火器を使って消火訓練を実施しました。

大国主神社では、地域住民によるバケツリレーでの消火活動や、地域の消防団員による放水訓練をして、いつ発生するか分からない災害に備えました。



※文化財防火デーとは

昭和24年1月26日、聖徳太子が建立した『法隆寺・金堂』から出火し、世界的に有名な『壁画』が焼失しました。このような貴重な財産を、火災、震災、その他の災害から守るため『文化財防火デー』が定められました。

紙風船西木ふるさと会総会開催

2月15日、東京上野精養軒を会場に、会員など115人が参加し、第21回紙風船西木ふるさと会(会長 熊谷久)総会と懇親会が開催されました。

石黒市長、佐藤市議会議員、門脇県議、門脇市議はじめ、市関係者や団体の皆さんが出席し、急遽、紙風船上げ実行委員会の鈴木東司会長も駆け付け、東京角館会の太田幹事長他1名・東京田沢湖会の高橋会長他6名が招待され、身動きがままならない程の盛況となりました。

第2部では、演歌歌手「熊谷ひろみショー」や、浪曲師ふじことみ(西木町中里出身)による「浪曲マジックショー」、会員による民謡などの熱唱に時間の経つのも忘れて酔いしれて、ふるさとを偲びながら懇親を深め、来年の2月14日(日)の上野の杜での再会を誓い合いました。



おめでとうございます 白寿(99歳)のお祝い

1月25日に住吉由松さんが99歳の白寿を迎えられ、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。

